



地区スローガン：「Love Other Spirit ～繋ごう次世代へ 夢ある未来に向けて～」

クラブ方針：「豊かな心を持とう! 今こそ『絆』」

## 国際ロータリー第2790地区 第3グループ 千葉西ロータリークラブ Rotary Club of Chiba-West WEEKLY COMMUNICATION

創立 1976年1月20日 承認 1976年2月25日  
 会長 今野文明 幹事 本橋和也  
 例会場 千葉スカイウインドウズ 東天紅 センシティタワー23階  
 TEL 043-238-5555  
 例会日 毎週火曜日 12:30～  
 事務局 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル7階  
 TEL 043-245-3202 FAX 043-245-7522  
 E-mail : chibawestrc@wrpc.co.jp  
 URL : https://www.chibawest-rc.net/

### ■ 会長挨拶 / 今野文明 会長

皆様、本日は大変お忙しい中、例会にご参加を頂き、誠にありがとうございます。

本日の例会には、藤崎ロータリー財団委員長のご尽力があり大変お忙しい中、国際ロータリー第2790地区ロータリー財団学友会、会長宮坂真依子様をゲストにお招きすることが出来ました。分からない部分が多いので、本日はロータリー財団学友会について、学ぶ良いチャンスだと思います。どうぞよろしくお願い致します。また本日の例会終了後、本来なら8月17日行う予定でした、ガバナー補佐訪問のクラブ協議会が開催されます。清田ガバナー補佐と私の間柄を一言で言うと地区で知り合い供に切磋琢磨した同志という感じです。清田さん、よろしくお願い致します。2週間後の12月14日には、ガバナー公式訪問もあります。当クラブの後半戦に向け、実りある話し合いが出来ればと思っています。

また、先日の11月16日の休会日に公益信託千葉西ロータリークラブ青少年育英基金、令和3年度第2回運営委員会が開催されました。運営委員長には花光 PP、運営委員には大森 PP に長年に渡り務めて頂いております。この運営委員会は、5月と11月、年に二回開催されているものです。本年度も社会奉仕委員会の活動計画の中に「公益信託事業の継続及び推進」を入れさせて頂いております。入会間もない方も一度は聞いたことがあると思いますが、この歴史のある素晴らしい事業、公益信託千葉西ロータリークラブ青少年育英基金事業について少しふれたいと思います。この基金は、当クラブ10周年記念事業の一環として、次代を担い地域社会の青少年健全育成に役立つ育英事業を目的に、昭和54年に発議し同年7月「ニコニコBOX」の中から別途積立てを始めたということです。昭和60年7月「千葉西ロータリークラブ育英基金」の設立を決議し、昭和61年4月よりこの基金の運用益から、千葉市内の高校生に対し奨学金の給付を開始しました。千葉市の県立高校22校を順番で、一校2名、計8名の生徒に月1万円、年12万円を「向学心に富みながらも経済的理由により修学困難な学生に対して奨学援助を行うものです。」今現在この青少年育英基金は、約1200万円以上ありますが、当クラブのものではなく、公益信託が管理しています。この資金が無くなるとこの事業も終了してしまいますが、毎年「ニコニコBOX」から50万円を資金とし入れます。その他に毎月第3例会前に寄付受付をしています。財団、米山がそれぞれ1000円、アジアふれあいと青少年育英基金がそれぞれ500円のこの500円が資金となっています。皆様の貴重な寄付金が、この当クラブの素晴らしい事業の運営となっていることをご理解頂き、皆様の更なるご協力をお願い申し上げます。

以上で、本日の私の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

### ■ 四つのテスト / 宮川忠士 会員

「言行はこれに照らしてから」  
 真実かどうか  
 みんなに公平か  
 好意と友情を深めるか  
 みんなの為になるかどうか



### ■ お客様

宮坂真依子 様 (ゲストスピーカー・地区ロータリー財団学友会会長)  
 清田浩義 様 (第3グループガバナー補佐・千葉 RC)  
 大野雅章 様 (ガバナー補佐担当・千葉 RC)

### ■ ご挨拶 清田浩義 第3グループガバナー補佐

こんにちは。第3グループガバナー補佐を務めております、千葉 RC の清田でございます。本日は補佐訪問ということで2週間後の正式なガバナー訪問前に邪魔させて頂きました。本日は学友会会長宮坂さんのお話があるという事で、ご一緒させて頂きます。先日の情報研究会に、千葉西の皆さんは例会場でのオンライン参加を頂きありがとうございました。補佐の立場として上期は情報研究会を開催し、テーマはロータリーの一丁目一番地でもある職業奉仕とさせて頂きました。入会間もない皆さんに是非勉強していただくということで、鶴沢ガバナーノミニーさんに講師をお願いし、その後はパネルディスカッションを開催致しました。改めて御礼申し上げます。千葉西さんは8月17日にガバナー公式訪問が予定されておりましたが、コロナのために延期となりました。コロナも下火になっております現在、宜しく願い致します。今日はそんなことでご一緒させていただきます。宜しく願い致します。



■ **ゲスト卓話 地区ロータリー財団学友会会長 宮坂真依子 様**  
**「ロータリー財団での留学を通して得たもの」**

皆さんこんにちは。現在 2790 地区学友会の会長を拝命しています、宮坂と申します。今日は、財団でお世話になり、学友会としても名刺作成などでお世話になっております藤崎様よりご依頼をいただきまして「ロータリー財団での留学を通して得たもの」という題で卓話をさせていただきます。よろしくお願いいたします。



本日のお話は大きく分けて 4 つのトピックに分かれます。まず、自己紹介と、自分自身の財団学友としての留学体験について、今月最初の週末におこなわれた当地区財団学友会 50 周年記念式典について、最後に地区学友会活動全般についてお話ししたいと思います。

まずは自己紹介から始めます。私は文学部で西洋古典学を専攻した後、修士課程の途中で英国へ留学し、帰国後博士課程を経て、現在は、東京芸術大学等で西洋古典文学やラテン語の授業を受け持ちながら、博士論文を執筆しています。博士論文では、今から約 2000 年前に地中海全域を支配し、さまざまな人種であふれていた国際都市ローマで描かれた、様々な作品の中に描かれる、さまざまな立場の人間同士の信頼関係構築をテーマとして研究しています。様々な人種・立場・考え方の違う人々との相互理解を目指し、学問の分野で、西欧と日本の橋渡しをする、ということが将来的な目標です。

次に、財団学友の派遣留学と帰国後の活動の一例として、英国での学生生活と、現地ロータリークラブとの交流についてお話しします。私が留学していたブリストルという街は、橋を渡ればすぐにウェールズに行ける、イングランド南西部に位置する港町です。ちょうど私が留学していた 2013 と、2014 年に「英国人が住みたい街 No.1」に二回続けて選ばれました。気候も暖かく、英国内でも晴れの日が多い地域で、とても住み心地の良い場所でした。

ブリストル大学は、元首相だったチャーチルが学長を務め、英国で最初に女子に門戸を開いた大学としても知られ、私の専門分野においても高い評価を得ています。大学院での研究生活は決して楽ではありませんでした。大学全体としては外国人留学生の多い大学ですが、西洋古典学部は、英国内でも政治家や研究者を目指す英国の上流階級の子女が集まる傾向にあり、いわゆる生粋の英国人しかおらず、唯一のアジア人、唯一の留学生ということでマイノリティとしての体験をしました。最初はクラスの中で浮いている窮屈感を感じましたが、自分の思考や問題点を話すことにより、徐々に親しく交流できるようになり、自分の方から考えていることを伝える努力をするということの大切さを実感しました

私のお世話になったホストクラブは、ブリストルで最も古く、所属する会員の平均年齢も最年長というクリフトン RC で、カウンセラーをしてくださったのはグリドンご夫妻でした。ホストロータリークラブとの交流としては、通常例会にて卓話させていただく以外に、地域の老人ホームのお年寄りを招くクリスマスチャリティーキャロルや、クラブ主催のクリスマスランチ、クリスマスの当日には、カウンセラーのグリドンさんのお宅に夫婦でお招きいただき、伝統的な英国家庭のクリスマス体験をさせていただき幸運に恵まれました。その他にも、米国からクラブを訪問した GSE メンバーと一緒に、カウンセラーのグリドンさんが校長をされていたブリストルの名門男子校の見学や、市庁への表敬訪問を行ったり、6 月末に市庁舎で行われるクリフトン RC の役職交代セレモニーのフォーマルディナーにも参列させていただき、英国の伝統的なクラブならではの、珍しい体験をすることができました。卒業式にも、英国の両親としてカウンセラーのグリドン夫妻が参列してくださり、無事英国生活を終えることができました。

次に財団学友会について説明します。2012-13 年度まで分野を限らず奨学生を派遣していた国際親善奨学金制度が終了

**ロータリー財団での留学  
を通して得たもの**



2790地区財団学友会 会長 宮坂 真依子

**財団学友会とは**

以下の学友(プログラム終了後のメンバー)が所属する会

- ❖ 国際親善奨学金を授与された者 (～2013年度までで終了)
- ❖ 2013年以降、奨学金制度が変更 → 6つの重点分野に特化した派遣留学制度へ
- ❖ グローバル補助金 (GG) を授与された者、またはその候補者
- ❖ 地区補助金 (DG) を授与された者、またはその候補者

**2790地区財団学友会**

- ❖ 1971年開始 → 2020年で派遣開始から50周年
- ❖ 2021年度までで、計321名を派遣
- ❖ コロナで一年延期したのち、2021年  
11月6日：2790地区財団学友50周年記念式典  
11月7日：日本ロータリー学友会全国総会  
を、成田にて実施。

**2790地区財団学友50周年式典の様子**



し、2013-14 年度より国際ロータリーの重視する6つの重点分野に関する分野の専攻学生を派遣するグローバル補助金と、やや自由な分野での派遣という色合いを残した地区補助金の2本立ての制度に変更されました。この派遣留学を終えた奨学生が所属する団体が財団学友会です。千葉県では、1971年に開始された奨学生の派遣から、ちょうど昨様が50周年で、今年派遣された5名の奨学生を含めて、計321名を派遣をしたこととなります。本来ならば昨年11月に行う予定だった千葉地区財団奨学生派遣50周年記念式典と、財団学友の全国組織である「日本ロータリー学友会」の全国総会を、コロナの影響から一年延期して、ハイブリッド形式を併用した上で、今月の第1週の6、7日の週末に成田ビューホテルと成田山新勝寺の光輪閣にて行いました。50周年式典は、2790地区財団学友の学友メンバーである、音楽家の演奏、麗沢大学前学長の中山理さんと宇宙飛行士の山崎直子さんの基調講演をメインの柱として開催し、会場参加者57名、オンライン参加者は80名を超えました。式典の夜は、「With コロナ・After コロナの教育現場」というZoomを利用したオンライン学友座談会を行い、50名を超える方々が参加してくださいました。2日目の日本ロータリー学友会全国総会も、コロナ下という状況の中、全国から13地区45名の方々がご来場くださり、オンライン参加者も15名でした。両日ともに美しい秋晴れで、2日目の午後のエクスカッション（成田山新勝寺での精進料理、護摩祈祷体験と境内散策）も堪能していただくことができました。

続いて、2790地区での学友会活動についてお話しします。私は、7年前から当地区学友会役員のお役目を引き受け、学友会活動に本格的に参加することになりました。この活動を通して、50周年でもご講演いただいた宇宙飛行士の山崎直子さんをはじめとする千葉地区から留学された先輩学友や、学友会に関わってくださるロータリアンの皆さんとの交流を通し、様々な出会いや学びがありました。また、地区外でも、日本全国の財団学友の集まりである日本ロータリー学友会の活動に参加する中で、様々なフィールドで活躍する学友との交流により、ロータリー学友の広がりや多彩さを感じ、その一人になったことを大変誇りに思います。50周年行事に向けて、地区ロータリーとの絆が途切れてしまった先輩学友のみならずにも再び交流の機会を持っていただくために、3年前から年3回程度のペースで、学友茶話会を開始しました。様々な専門分野の学友が毎回講師として話題提供し、参加者との質疑応答を通して交流していくという活動で、最初6名から始まった小さな集まりでしたが、コロナ中にオンライン開催となってから、徐々に参加者が増え、通算8回目の茶話会となった50周年の座談会には50名を超える方々が参加してくださいるまでに拡大してまいりました。今後も引き続き開催を続け、より多くの方々が関わっていただける会となればと考えております。

さらに、諸岡G年度より、地区大会での青少年年の集いや国際里山の集い、米山忘年会、ロータリーデー BBQ 大会などを通して、地区内に存在する米山学友会やローターアクト、インターアクトなど別のロータリーファミリーとの交流活動も活発化してきました。さらに2年前にこれらのロータリーファミリーをつなぐ存在として「学友連絡協議会」が発足し、今後さらに相互の交流が活発化していくものと期待されます。

最後に、ロータリー財団の派遣留学で学んだことについてまとめます。

1つ目として、人と人との絆・信頼関係の大切さです。留学中だけでなく、帰国後もロータリーに関わる活動を通して、数え切れない素敵な方々との出会いがあり、その関係によって新たな知見が広がり、その全てが自分にとって大きな財産になっていると感じます。

2つ目に、国際親善とは、国籍も、育ってきた背景も、考え方も全く違う他者との真摯な対話を通して、相互理解をすることによって実践できるのではないかとことです。向き合っ

2790地区学友座談会の様子



5

日本ロータリー学友会全国総会の様子



6

2790地区学友会の活動

学友茶話会 第8回まで実施



7

地区学友連絡協議会の活動

ロータリーデー BBQ大会



8

依に立つことができると感じます。  
 3 つ目に、自分から積極的に動いていくことの重要性です。待っていても何も起こりません。また、自分からやりたいことを見つけて行えば、その活動をより一層楽しむことができると思っています。

このような素晴らしい機会をくださったロータリー財団に、全ての学友を代表して、心より感謝申し上げます。今後とも財団の奨学生派遣にご理解をいただき、地区の学友会活動にご支援ご協力を賜れましたら幸いです。ありがとうございました。

## 地区学友連絡協議会の活動

国際里山の会



9

## ロータリーの派遣留学で学んだこと

- ❖ 人と人との絆の大切さ
- ❖ 国際親善 = 真摯な対話と相互理解
- ❖ 自分から積極的に動いていくことの重要性
- ❖ 「世界で良いことをしよう！」  
ロータリーの理念の実践



## ■ ガバナー補佐訪問 クラブ協議会・会長挨拶

・改めまして、清田ガバナー補佐、本日は大変お忙しい中、当クラブへの訪問及びクラブ協議会へご参加を頂き、誠にありがとうございます。

・本来なら 8 月 17 日行う予定でしたが、なんとか本日ガバナー補佐訪問を開催することができました。コロナのトンネルを抜けたら、またトンネルそして変異ウイルスの変化、この厳しいコロナ禍が続き、毎日言われている「三密」もそうですが、いろいろな意味で分断されている今こそ、改めて人との出会い、結びつき、繋がりを大切にしていきたいと考えています。

・本年度の会長方針を「豊かな心を持とう！ 今こそ『絆』とさせて頂きました、既に半期が終わろうとしています、この長いようで短い一年間で「絆」とは、作ろうとして作れるものではなく、自然と生まれてくるもので、また深めるものだと考えています。

・2 週間後の 12 月 14 日には、ガバナー公式訪問もあります。  
 当クラブの後半戦に向け、実りあるクラブ協議会になればと考えています。  
 どうぞよろしくお願い致します。



■ 幹事報告

なし

■ 委員会報告

なし



😊 ニコニコBOX

- 山本…亡くなられた藤崎氏とは千葉西 RC 同期入会でした。ご冥福をお祈り致します。
- 藤崎…宮坂さん、本日はありがとうございました。  
父、藤崎忠雄の葬儀に多数ご列席をいただき、また多くの供花をお供えいただき、ありがとうございました。  
わがままな人生でしたので、悔いはないと思います。
- 今野…本日は、ロータリー財団学友会、宮坂様 当クラブの例会での卓話、誠にありがとうございました。  
また清田ガバナー補佐、クラブ協議会へのご参加ありがとうございます。
- 木村…また新たな変異ウィルスが発生したようですが、皆様頑張りましょう。
- 川城…WRG コンペで優勝できました!光栄至極です。
- 本橋…今月で今野年度も5カ月間が過ぎました。皆様には様々なご協力をいただきありがとうございます。  
引き続きよろしく願い致します。
- 桜井…寒くなってきました。皆様、お体ご自愛ください。
- 小松…紅葉の便りもテレビ BSで楽しんで、今年も暮れなんとしています。来年こそは…と思う今頃です。



千葉西ロータリークラブ	総数	出席	前々回の修正	メーキャップ	本日の出席率	ニコニコBOX	本日の合計	次週プログラム
	48名	35名		2名	81.40%		35,000円	
	対象者	欠席		欠席	前々回の出席率		本年度累計	
	43名	8名	7名	84.44%	458,000円			

■ 次週プログラム 12月7日(火)

- ・クラブ年次総会
- ・ゲスト卓話 地区RLI実行委員 矢野理恵さん  
「コロナから見えてきたこと」

12:30点鐘 千葉スカイウィンドウズ 東天紅

クラブ広報・ロータリー情報委員会 【委員長】桜井隆宏 【副委員長】海賢勲 \*高橋健一郎 【委員】嶋田 悠 \*野城隆憲 \*北村悠介 \*中村武弘 \*川崎美嘉子